

連結決算サマリー

売上高	30,091百万円 (前年同期比+3.9%)
営業利益	1,394百万円 (前年同期比△15.8%)
経常利益	1,270百万円 (前年同期比△18.7%)
純利益	736百万円 (前年同期比△19.1%)

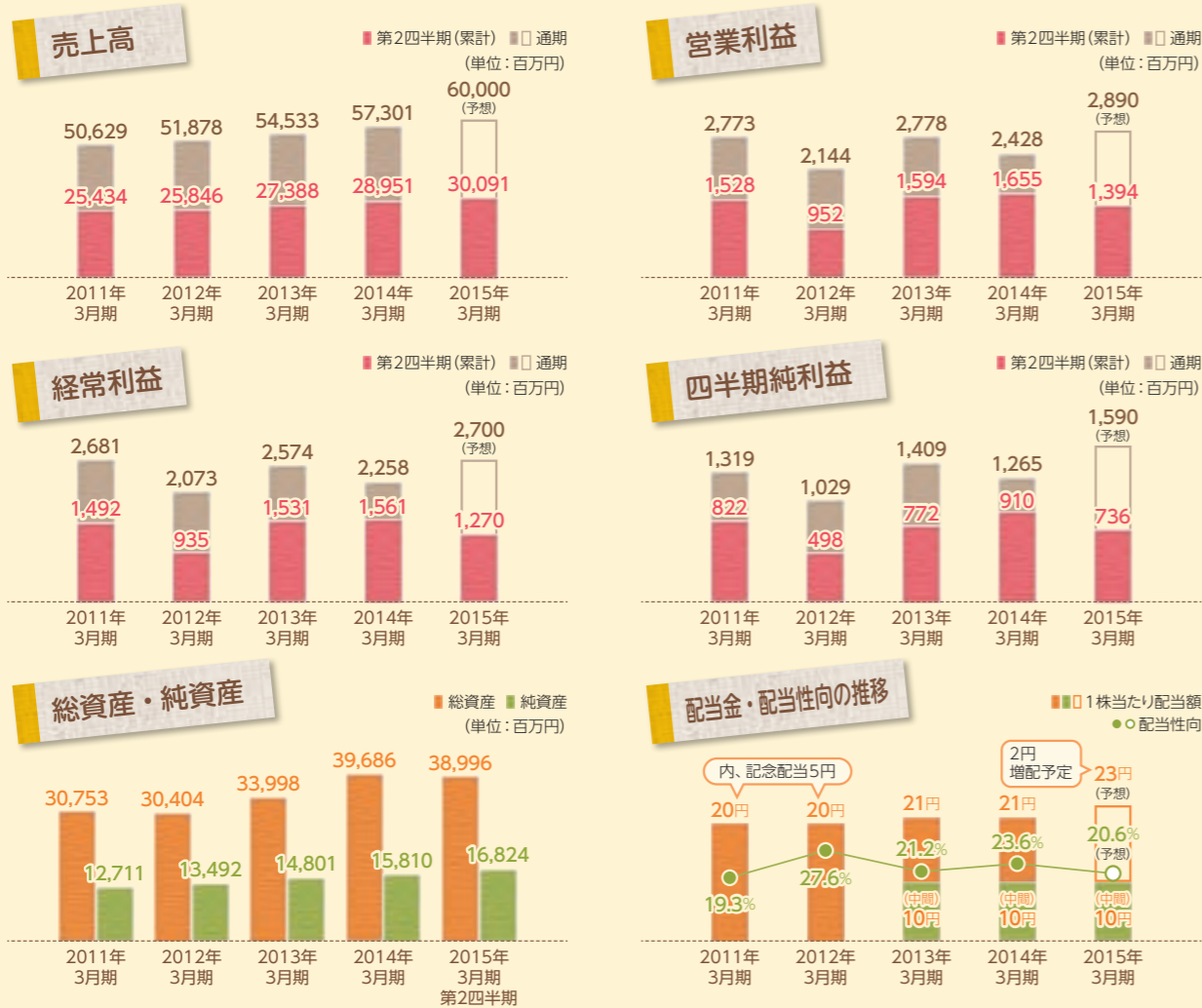
売上高の解説

分野別・業態別対策の取り組みにより売上高増  
 ● 分野を細分化した業態別の個別対策によるきめ細やかな対応力  
 ● タマゴ加工品を中心とするコンビニエンスストアでの新規採用

利益の解説

卵価の高騰は想定以上ではあったが、  
 経常利益は期初予想どおり推移  
 ● 鶏卵相場の上昇による原料価格の高騰やエネルギーコストアップの影響  
 ● 静岡富士山工場の立ち上げ時の一時的な費用の発生

連結財務ハイライト



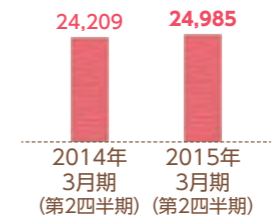
セグメント別営業概況

売上高構成比 **83.0%** **調味料・加工食品事業**

売上高 **24,985**百万円  
 セグメント利益 **1,244**百万円

主な事業内容  
 サラダ・総菜類(ポテト/ごぼう/ツナ等を使用したロングライフサラダ等)、マヨネーズ・ドレッシング類、タマゴ加工品(厚焼き卵、タマゴサラダ等)の製造・販売

売上高推移 (単位: 百万円)



ポイント

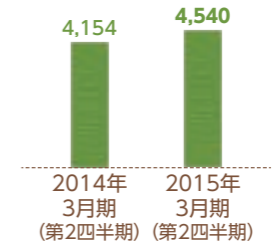
- 基盤商品であるポテトサラダが外食向けを中心に新規採用されたことや数量が伸長
- パンプキンサラダは製パン向けに、また小型形態のポテトサラダやサラダ等がコンビニエンスストア向けに新規採用され伸長
- タマゴ加工品は、サンドイッチ用や焼き込みパン用のタマゴサラダ、薄焼きタマゴや茹で卵等、様々な加工形態の商品がコンビニエンスストア、製パン向けを中心に伸長し大幅な増収

売上高構成比 **15.1%** **総菜関連事業等**

売上高 **4,540**百万円  
 セグメント利益 **149**百万円

主な事業内容  
 国内の連結子会社7社が行う事業。フレッシュ総菜(日配サラダ・和惣菜)の製造及び量販店等への販売、ケンコーマヨネーズからの調理加工食品及びタマゴ加工品の生産受託事業

売上高推移 (単位: 百万円)



ポイント

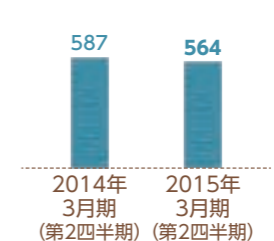
- 2013年12月から開始した北海道エリア限定でのカット野菜が堅調に推移
- 量販店向けにパスタサラダ等の既存商品の増加
- 卵価や野菜価格の高騰影響から、原材料費が上昇したこと等により減益

売上高構成比 **1.9%** **その他の事業**

売上高 **564**百万円  
 セグメント損益 **△134**百万円

主な事業内容  
 ショップ事業(Salad Cafeショップ)及び海外事業

売上高推移 (単位: 百万円)



Salad Cafe 高島屋京都店

ポイント

- Salad Cafe 高島屋京都店リニューアル(5月)
  - 中国では経営資源を集中させるため、東莞工場でのサラダの生産・販売機能を主力工場である杭州工場へ集約
  - インドネシアでは市販・業務用マヨネーズや液卵の製造・販売を実施
- ※ 海外事業は持分法適用会社のため売上高には含まず